

喜久田中学校便り

# 為せば成る



第 3 2 号

発行日：令和6年1月10日

文責：校長 菊地 敏美

連絡先：959-2204

新年を迎えましたが、1月1日に発生した令和6年能登半島地震では、死者が200名を超え、多くの方が被災されました。お亡くなりになられました方々に心よりお悔やみ申し上げますとともに、被災された皆様に心よりお見舞いを申し上げます。

そして、一日も早い行方不明者の救出とライフラインの復旧をお祈り申し上げます。

第3学期の始業式にあたり、下記の式辞を述べましたのでご紹介いたします。

保護者の皆様には、本年もどうぞよろしく願います。

夢と希望を託す新年を迎えました。あけましておめでとうございます。生徒の皆さんには、健やかに新年を迎えられたことと思います。また、大きな事故や怪我もなく、皆さんとこうして第3学期を迎えられたことをうれしく思います。

本日からスタートする第3学期は、1・2年生51日、3年生45日という短い期間ではありますが、特に3年生にとっては中学校のまとめと一人一人の進路の実現に向けたとても重要な学期であると思います。また、1・2年生にとっては、1年間のまとめと次年度に向けた準備の大切な学期でもあります。皆さんには、目標を持って一日一日を大切にしながら学校生活を送り、それぞれの夢や希望の実現と、4月からの新学年でのスタートのため、有意義な時間にしてほしいと思います。

結びに、戦国時代の武将武田信玄は、「一生懸命だと知恵が出る、中途半端だと愚痴が出る、いい加減だと言いつけが出る」という有名な格言を残しています。また、前を向く人は「できる方法を考え」、後ろを向く人は「できない言いつけを考える」ともいわれています。

生徒の皆さんと先生方が協力して一生懸命に知恵を出し合い、感染症に十分注意しながらそれぞれの限界に挑戦し、「言いつけ」を漏らさず充実した学期となることを願い式辞といたします。



(朝日が昇るのが日ごとに早くなってきました。穏やかな一年になることを願っています。)